

「シーサイドももち開発計画公募」事業予定者 への土地譲渡に関する請願書

《 紹介議員 》

津田 隆士(自民党早良区)

.....

久保 浩(公明党早良区)

.....

大森 哲也(みらい福岡早良区)

.....

栃木 義博(民主・市民クラブ早良区)

.....

(大きい会派の早良区の代表と地元市議)他 30 名

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

平成 1 7 年 1 2 月 1 5 日

福岡市議会議長

妹尾 俊見 様

《請願者》 〒814-0001

福岡市早良区百道浜四丁目 10-5

百道浜校区自治連合会

印

外 20 人

百道浜校区自治連合会長

《百道浜校区自治連合会会員》

23名中19名(代表者を除く)

百道浜一丁目1区(イーストステージ1,2,3,7棟)自治会会長

百道浜一丁目2区(イーストステージ5,6棟)自治会会長

百道浜一丁目3区(ネクサスシーサイド)自治会会長

百道浜一丁目4区(サンパティーク)自治会会長

百道浜一丁目5区・6区(センターステージ)自治会会長

百道浜一丁目7区(パークハウス・シャトレシーサイド・スリーエム)自治会会長

百道浜一丁目8区(百道タワー)自治会会長

百道浜三丁目1区(ヴェルデコート)自治会会長

百道浜三丁目2区(アクアコート)自治会会長

百道浜三丁目3区(ミサワホーム)地区代表

百道浜四丁目1区(ネクサス百道・アルティコート)自治会会長

.....
百道浜四丁目5区（アトモスもち）自治会会長

.....
百道浜四丁目6区（ネクサスレジデンシャルタワー）自治会会長

.....
百道浜公民館館長

.....
百道浜小学校PTA会長

.....
百道浜校区民生委員代表

.....
百道浜校区ごみ減量・リサイクル推進連絡会議会長

.....
百道浜校区体育振興会会長

.....
百道浜校区交通安全推進委員会会長

.....
百道浜校区青少年育成協議会会長

.....
百道浜校区老人クラブ連合会会長

.....

《請願の要旨》

対象地 : 早良区百道浜三丁目 901 - 60, 61, 62, 63

事業予定者: 代表事業者

学校法人 高木学園 (福岡市博多区対馬小路 13 - 20)

理事長 高木邦格

事業構成者

医療法人社団 高邦会 (大川市酒見 141 - 11)

理事長 高木邦格

対象地 (旧中学校予定地) の上記事業予定者への譲渡にあたっては、対象地が百道浜地域における街づくりの方向を決める最後の拠点用地の処分であるとの重要性から、以下の2点が具体的に実現できるよう条件を付して処分するよう請願いたします。

- 1 保健・医療施設は、少子高齢社会における 21 世紀の保健・医療施設としての理念を明確にして、既存の百道浜地域の医療施設との連携と共生ができるよう専門的な協議の場で納得できる内容にすること。
- 2 建物等の実施計画を策定するにあたっては、南側の住宅地からの景観の軸線や緑道との連携を図り、建物の配置や意匠等が隣接居住の住民の納得できるよう、関係機関や地元住民と十分な協議を行って策定すること。

《請願事項》

私たち百道浜校区の住民は、先進的なモデル地区として福岡市が創造された、恵まれた自然と快適な居住空間に憧れて百道浜地域に居住するようになりました。そして、その街の中心部の 23,117 m² という広大な敷地が対象地 (旧中学校予定地) です。そこで、わたしたち住民は、対象地がどのような用途で活用されるのかが、今後の街づくりの方向性を決め、住民の生活に重大な影響を与えるものとして非常な関心をもって見守っていました。

福岡市では、昨年 12 月に中学校予定地としての利用を断念され、今年の 8 月に公募要件を定め公募しました。応募の結果は残念ながら上記の 1 社だけでしたが、福岡市では公募要件を充たすものとして事業予定者として、18 年 2 月に福岡市議会の承認を得て対象地を上記事業者へ譲渡することを決定し、12 月 10 日に地元で説明が行われました。

地元説明会では、多くの質問や意見がありましたが、それを受けて、その直後に行われた臨時の百道浜校区自治連合会 (自治協議会) 総会では、「シーサイドももち土地処分委員会」の付帯意見にもある以下の 2 点に地元要望を集約し実現していただくよう福岡市議会にたいし請願することにしました。

- 1 保健・医療施設は、少子高齢社会における 21 世紀の保健・医療施設としての理念を明確にして、既存の百道浜地域の医療施設との連携と共生ができるよう専門的な協議の場で納得できる内容にすること。

<理由>

百道浜地域では、医療機関に恵まれそれぞれの理念と高い志のもとで役割分担を行いながら市民や住民の保健健康に貢献し、10 数年の歳月を経て信頼と安心をかちえながら十分機能してきました。その意味で、この街にとって、従来型の総合病院は必要ではありません。むしろ既存の安定した良好な秩序を壊すものとして不安に思います。

しかし、少子高齢化の時代の趨勢は、この街をも覆います。今後の健康や日常生活に不安を抱くのは単身の高齢者の方々だけではありません。家族を含めて将来のことを考えると多くの人々が「住み慣れたところで健康で安心できる生活」を望むものです。国の 21 世紀の社会保障制度の改革の方向も、長期的に保健と福祉の両面から地域社会巻き込みながら元気で安心できる高齢社会を実現し、あわせて医療費の抑制をも図ることを狙いとしています。介護保険法の改正では、「介護から予防へ」の地域の取り組みを重視し、医療制度の改革にあたっては、在宅医療にシフトしながら「医療費の抑制」を図る方向です。

このような状況を踏まえ、事業予定者の方がどのような理念で地域との連携を図りながら保健・医療、福祉、教育機能を充実させていこうとしているのか早急に示して頂き、そして、その理念に応じた具体的な事業内容を推進するにあたっては、地域と連携を図りながら進めて頂くとともに、また、既存の医療機関との棲み分け共生の問題については、専門家集団である医師会での協議の場を設けて納得できる内容にして頂きたいとお願いするものです。

- 2 建物等の実施計画を策定するにあたっては、南側の住宅地からの景観の軸線や緑道との連携を図り、建物の配置や意匠等が隣接居住の住民の納得できるようとなるよう、関係機関や地元住民と十分な協議を行って策定すること。

<理由>

対象地は、百道浜地域の中心部に位置し、福岡市総合図書館を挟んで住民のやすらぎの動線である中心部を東西に貫く緑道に広範囲に隣接する用地です。百道浜地区の景観やまちづくりのシンボリックな土地に建設される建築物です。

基本計画で示され施設等の配置案では、西南ゾーンに敷地の 1/4 程度を占め、11 階建て 38,000 m²が建設される予定になっています。隣接する南側のマンション群（アクアコート約 300 世帯）では、眺望が妨げられるだけでなく圧迫感や病院から見下ろされる等の心理的影響もあります。また、緑道の活用を十分配慮できるように「シーサイドももち土地処分委員会」の付帯意見にもあるように実施計画を策定するにあたっては、良好な業者を選定し、隣接居住の住民の納得が出来るよう建物配置や意匠等の変更にも柔軟に対応して頂きたいとお願いするものです。